

令和 6 年 1 1 月 1 2 日 (火)
令和 6 年度工学部教育企画委員会 FD 部会

令和 6 年度教員相互授業参観（オープンクラス）に対するご意見・感想について

令和 6 年 1 0 月 2 8 日(月) ～ 1 1 月 8 日 (金) に、令和 6 年度教員相互授業参観（オープンクラス）を実施いたしました。いくつかご意見や感想をお寄せいただきましたので、以下に掲載いたします。

※掲載内容については、個人が特定されないよう一部改変しております。

《機械工学・システムデザイン学科》

- ・丁寧の説明されていました。スライドの図と式もクリアでした。短い間隔で説明と演習を繰り返され、学生の理解を助けていたと感じました。
- ・教員と TA が学生 1 人 1 人に対応されていて、とても労力を要する授業のように感じた。
- ・TA によるサポートが手厚いと感じた。
- ・授業の最初を宿題の解説にしているので、おそらく遅れる人がいないであろう点は良い工夫だと思います。あと、この分野ではそうなのだろうと思いますが、直感的に力やモーメントの向きがわかることを前提に進んではいるものの、1 年生は本当にそれでわかるのかが気になります。
- ・担当されている先生がお持ちの圧倒的な解析力を駆使して進める授業だと感じました。事前に十分に予習している優秀な学生にとっては良い授業だと思いますが、かなりの速度で進むので学生がついていくのは大変だろうと感じました。
- ・必修の実習科目であるため多くの学生が受講している中、教員 2 名により学生への個別対応をされていることに関心した。
- ・講義の性質上、指導側のリソースが不足しているように感じました。技術職員や大学院生 TA の動員を検討されてはどうかと思いました。
- ・パワーポイント資料は WebClass から閲覧できるのだと思いますが、学生がスマホでパワポ画面を撮影していました。担当教員の説明が速いという印象もありませんでした。学生達の行動の理由がよくわかりませんでした。
- ・後方半分に座っている学生の半分以上が授業と関係無いことをしていた。その日〆切の実験レポート、他の授業の予習、ゲーム、動画視聴など。(自身の講義でも同様の傾向にある)
- ・学生の授業への集中度の向上や動機付けに、自分とは異なる方法を取っていて勉強になった。

《電気電子物理工学科》

- ・演習の解説中に中間テストの予告をするなど、学生の集中力を途切れさせない工夫が伺え

ました。赤ペンで丁寧に添削された演習問題を返却していらっしゃるようで、学生の学習意欲を高めていることがわかりました。機構の図の表現について、UFO キャッチャーなど、学生が身近に感じられる例を用いて説明することで、理解を深めやすくなっていると感じました。また、YouTube 動画を活用することで、抽象的な概念をより具体的に理解できるように工夫し、学生の学習意欲を高めているように見えました。前の方に座っている学生が多いことから、授業内容に興味を持っている学生が多いことが伺えました。一方、教室の問題ですが、教室の形状を考慮し、図を2倍程度の大きさにすることで、後方に着席している学生にも見やすくなると思われます。板書と音声で PC でキャプチャーし、WebClass などで講義を公開されたら補完できるのではないかと思います。学生は復習がしやすくなり、他の学生も授業内容を把握しやすくなるかと思います。また、単純に忘れてただけかと思われますが、YouTube 動画の視聴後、板書に戻るときに、教室設置のテレビに板書を映すようにするのが忘れていらっしゃいました。板書はどうしても見づらい教室ですので、テレビに映すのは忘れないで頂けたらと思います。

- ・授業では、教員がわかりやすく解説した後、学生一人ひとりが課題に取り組む時間が確保され、TA が個別指導を行う形式が取られていました。この方法により、学生は自身のペースで理解を深めやすく、学習の定着が期待できる工夫がなされていると感じました。

- ・受講者数に対して TA が2名という体制では、すべての学生に対して迅速にサポートを提供するのが難しい印象を受けました。しかしこれ以上の TA の増員は総枠から難しいので、難しい問題です。

- ・教室の縦長の配置により、後方のモニターが小さく、視認性が十分でないように感じました。特に後方に座る学生が講義内容を見づらくなってしまうため、モニターのサイズが大きくなってくると嬉しいです。現実的には教室の変更を検討することが望ましいです。また、学生が後方に座る傾向があるため、前方に座るよう促す工夫があると良いかもしれません。

- ・レポート返却作業が負担になっている様子でした。デジタルツールの活用によるオンライン提出・返却を取り入れることで、教員の負担を軽減し、フィードバックの効率化が期待されます。

- ・学生が「講義の面白かった点・難しかった点」を記載して提出している取り組みは、学生が内容を振り返る良い機会となっており、学習の理解度を教員が把握する手がかりにもなるため、非常に有意義だと感じました。今後も引き続き、学生からの意見を積極的に収集し、授業改善に役立てていただければと思います。

- ・スライドを使用した講義でしたが、受講者がノートを取るべきポイントと書き写す十分な時間を確保している点は見習うべきと思いました。ただ、受講者側の姿勢が良くないと感じました。特に遅れて入ってくる者と PC を開いて他のことをしている者が目に付きました。

- ・パワーポイントを使った講義であった。ゆっくりとした口調で、学生の理解を即しているのがよくわかり参考になった。

- ・学生は演習に真剣に取り組んでいる様子でした。担当教員、TA による指導も丁寧に行わ

れていました。

- ・実経験のエピソードを交えながら話をしているので学生にも理解しやすい内容でした。スライドが文字中心ですが読みづらいので大きいフォントサイズにして視覚効果を増やすとより学生の理解を得やすいと思いました。

- ・難しい文言が多用される文章かつ抽象的な内容について解説がなされていました。非常になる内容でした。時折質問しているのが学生を引き込むのに効果的と思いました。

- ・スライドを説明する感じだったので、字が見やすかった。絵がなく黒字だけだったので、イメージがしにくいところもあるので、挿絵は入れようと思った。

- ・議論しやすい課題の設定方法や、発言した学生へのフィードバックの仕方など大変参考になりました。

- ・先生が2名登場したが、二人ともお話がうまく人柄も魅力的で授業に集中できた。途中ちょこちょこグループディスカッションを取り入れている点で学生も取り組みやすかったように思う。

- ・学生が大学で学んだ専門知識をどう社会に役にたて、何のために行うか考えさせる授業であった。専門の勉強をする目的を見失ってしまいがちな学生にとってもためになる授業だった。私自身も社会とは何か考えさせられた。

- ・学生同士が協力して課題に取り組む雰囲気になっていて良いと思った。

《情報工学科》

- ・レポートの提出方法をスライドで丁寧に説明しており、初年次の授業として良いと思った。演習を課題ごとに時間を設けて行わせており、学生がペースを揃えられるように工夫されていた。プログラムを配布資料からのコピペではなく、手で打っている学生が多いのが印象的だった。

- ・グループ毎に検討した内容の発表会を聞きました。担当箇所ごとに発表者が交替するグループ発表でしたが、先生方からの質問に対して、一人がすべて回答するというのではなく、全員がテーマを共有・理解して、質疑に対応できている様子でした。発表会という形式が、全員の参加と緊張感を醸成できていると感じました。

- ・講義開始前から、多く学生が演習課題に取り組んでいるようでした。学生が課題に積極的に取り組んでいるのは良いことだと思いますし、先生の説明を聞く必要のない学生は独力でどんどん課題を進めて良いと思います。一方で、先生の説明を聞いている学生や困っている学生も居るかもしれませんので、TAさんが、より積極的に声掛けができると良いかもしれないと思いました。

- ・学生のペースに合わせて（進捗状況を確認しながら）、演習課題の説明をしたり、ハマりやすいポイントを全体に素早く共有する取り組みが、参考になりました。

- ・この教室は、縦長のため、板書形式だと後ろの座席から見づらいという問題がありますが、授業では黒板の映像をディスプレイに流しており、とても見やすい形でした。また、小テス

トを返却し、詳しく解説をするなどのフィードバックが充実しているようでした（フィードバックは非常に効果的であるようです）。その他、「教科書には例題の記載が一つしかないものの、問題は自分で考えるもの」「必要に応じて問題例を調べるように」というコメントが印象的でした。単に授業内容を教えるだけではなく、学習するにあたっての心構えの情報なども有用に思いました。発話や板書のスピードもちょうど良く、学生が受けやすそうに感じました（板書を写し終えたかどうかの確認もしていました）。

《応用化学科》

- ・スライドを用いている講義であり、スライド毎に教科書のページ数が書いてありました。受講生の復習には良いのだろーと思いました。
- ・配布されているスライド資料が充実しており、学生の理解度を高めていた。一方で、授業を聞く学生とそうでない学生の差が目立った。配布資料を頼みにしているのか、特に後方に着席した学生の居眠りが多かった。
- ・授業全体がわかりやすく整理されていて、学生が集中して学べる工夫が随所に見られました。また、復習しやすい内容となっており、学習意欲を高める配慮が感じられました。
- ・演習を複数行ってより理解を深めていた。参考になりました。
- ・演習形式ですので、もう少し狭い教室の方がやりやすいと思いました。
- ・授業に使用するパワーポイントの各図は、情報が過剰にならないように配慮されていて、重要なところが分かりやすくまとめられていました。また、パワーポイントを使った説明もポインターだけでなく、書き込みながら説明しており、是非とも試してみたいと感じました。一番後ろの席から聴講していましたが、前の人の頭でパワーポイントの下側少し見えませんでした。ただし、多くの学生は、WebClass からダウンロードした資料をパソコンで見ながら聞いており、きちんとフォローできているようでした。

《環境社会デザイン学科》

- ・黒板の字が大きく見やすく、講義中話す速度も良く、声量も聞き取りやすかった。講義冒頭のレポート課題の解説が丁寧に行われていた。
- ・持ち回りの講義のため、今後のテーマ設定を考えるうえで、参観しました。問題設定について理解することができました。
- ・講義と演習のバランスがよかった。学生の飽きが生じないような工夫がなされていたと感じた。
- ・演習科目の講義進行の仕方について大変参考になった。
- ・来年、担当するので、予習できました。

以上